

市財政を生みだす提案力

税金の無駄づかいを正し、市財政を生みだす上でも、**砂田市議**は積極的な役割を果たしました。



市民オンブズ小矢部の皆さんと力をあわせ、市長や議長の交際費、食糧費や旅費の点検を氏、官官接待のための飲み食いをやめさせるなどして年間約4千万円の節約をしました。

税金の無駄づかいを正し
年間約4千万円
節約に

県営子撫川ダムの固定資産税（国有資産等所在市町村交付金）の20年以上にもおよぶ課税漏れ（合計2億2824万円）を正しました。水道料金値下げを求める市民運動の中で市民から指摘されたことがきっかけでした。03年度補正予算で5年前（時効の壁）に遡って6889万円を取り戻し、その後毎年1千万円程度の増収となっています。

子撫川ダムの固定資産税課税漏れを正し
年間1千万円
増収に

下水道計画の見直しで、散居村では合併処理浄化槽を組み合わせる方式にしたため、将来にわたる市の財政負担が108億円も軽減されることになりました。毎年のように求めてきたこの見直しについて、他の議員の皆さんも「そうだね」と同調してどしどし取り上げていた だけるようになりしました。

下水道計画の見直しで
将来の財政負担
108億円を軽減

8期32年 数々の実績

2面に紹介した数々の実績があります。これらは、市民の皆さんから寄せられたご意見、要望をもとに、市議会で毎回発言して実現したものです。市民の皆さんと力をあわせて署名運動などにも取り組んできました。

市議会で果たしてきた砂田市議の活躍

誠心誠意、一筋に

日本共産党小矢部市委員会は4月26日、現職の砂田喜昭市議（七社）に加えて、新人の堀内昭世氏（埴生）を擁立し、複数議席をめざすことを発表しました。

「年金暮らしに消費税8%は痛い」、「子どものインフルエンザ予防接種の助成は助かった」、こうしたみなさんの声を励みに、ひきつづきがんばります。

市は、これから石動駅、総合会館や図書館の改築、二つの統合こども園、市役所の耐震化など大型事業が目白押しです。必要な事業でも、借金を増やさないよう実施時期や規模、内容の見直しを求めます。財政難を口実にして、市民生活にしわ寄せさせることは許しません。

安倍政権は安保法制（戦争法）を強行、さらに憲法9条改憲で「戦争できる国」に変えようとしています。TPPで農業・医療などを壊してよいのでしょうか。「これからどうなるの」「心配だ」と不安の声が聞かれます。

安倍政治と対峙して、憲法を生かし、暮らし・福祉を応援する政治を、みなさんと力をあわせて実現しましょう。

略歴
・1947年（昭和22年）生まれ
・高岡工芸高校電気科卒
・電電公社福野電話局勤務（5年）
・日本共産党小矢部市委員長
【趣味】もみじの鉢植え

七社在住

砂田喜昭の
ホームページ ツイッター



すなた よしあき
砂田喜昭

みなさんの願いをしっかりと聞き、届けます

浄化槽問題で政府交渉
(2018年1月12日-参院議員会館)

2018年5・6月号外
発行:日本共産党小矢部市委員会
小矢部市七社245 ☎67-4322
日本共産党小矢部市委員会の見解を紹介。

日本共産党の2議席で

市政をチェック・提案

要望実現の力さらに大きく

共同の力で

安倍9条改憲NO！ ウソとゴマカシの政治を正す

ウソとゴマカシの安倍暴走政治に多くの市民が怒っています。「モリカケ疑惑」や、自衛隊の日報隠しや自衛官の国会議員への暴言問題、財務事務次官のセクハラ問題など、安倍政権の異常な状態が日々明らかとなっています。「核兵器禁止条約に日本政府も参加をもとめる署名」や「安倍9条改憲ノ―3000万署名」が多彩な市民の参加でひろがっています。

こうした声を市議会に反映させるためには、定数16の中に日本共産党の2議席がどうしても必要です。安倍暴走政治に審判を下す選挙にしようではありませんか。

「議案提案権」を持ち



新人 堀内昭世 (増生)

2議席になれば、議案提案権を持つことになり、市民の要望を議案にして提案できます。共同の輪を広げて市政をチェック・提案し、要望実現の力がさらに大きくなります。

暮らし・福祉の充実や子育て・教育環境を整えられます。市民とともにすすめるまちづくりや中小企業・農業を基幹産業として育成し、地域循環型経済を進めます。無駄な公共事業や税金の無駄づかいを正し、市の借金を増やさない取り組みも前進させられます。市民の願いにこたえ、憲法を生かし、暮らし・福祉を応援する市政を前進させましょう。



砂田善昭 市議 (七社)

憲法を生かし平和と暮らしを守る市政へ

みなさんと力をあわせ 実現します

暮らし・福祉

- ◇ 国民健康保険税の引き下げ、介護保険料の減免
家計の負担を軽くするために税金を有効に使う
- ◇ 高齢者介護、障害者福祉の施設、サービスの拡充
家族介護から社会が支える介護になれば、明るく希望ある家庭に
- ◇ 市営バスの運行改善を
車の免許がない人も、行きたいところへ行けるように
- ◇ 正規雇用の拡大で、若者に生きがいを
ひとり暮らしの人たちも暮らしやすい市政に

こども・教育

- ◇ 学校は地域の中心施設。統廃合ではなく、少人数学級の実現で、こどもも伸びる教育を
- ◇ 10歳までの通院医療費も無料に
子育て世帯が小矢部市で住みたくなるように
- ◇ 保育料の軽減

まちづくり

- ◇ 散居村では合併処理浄化槽方式と組み合わせ、全域の下水道化を促進
- ◇ 再生エネルギーの活用で、地域に根ざした産業振興を
- ◇ アウトレットに地域との共存共栄を求め、社会的責任を果たさせる
- ◇ 志賀原発の再稼働に反対、原子力防災訓練の実施

中小企業・農業は市の基幹産業

- ◇ 住宅リフォーム助成や個人住宅の耐震化促進
- ◇ 農業者戸別所得補償制度の復活と後継者対策
- ◇ 生ごみの堆肥化、竹間伐材活用で循環型農業を



日本共産党が 市民の皆さんと実現してきました

- こども医療費は通院が中学3年生まで、入院が18歳まで無料に。
- 子どものインフルエンザ予防接種に1回2千円の助成制度実現。
- 下水道計画を見直し、散居村では合併処理浄化槽方式も取り入れました。これで見事にわたる市の財政負担を108億円も削減。
- 子撫川ダムの固定資産税課税漏れの是正で約1千万円増収。
- 食糧費・交際費などの無駄を省き、約4千万円節約。
- 石動中心市街地で隔月交互に片側駐車を実現。
- 道路照明灯をすべてLED照明に。
- 耐震化工事を全小中学校で完了。エアコンもすべての普通教室に設置しました。
- 学童保育を小学校5校で実現。おたに第三クラブをつくり、希望者全員を受け入れました。
- 預かり時間も30分延長します。
- 小学校低学年で35人学級を実現できました。
- 小学校1〜3年生の30人を超える学級に市独自で補助教員配置。
- 就学援助のうち入学準備金(ランドセルや制服などの経費を、県内で初めて、入学前に支給することになりました。



石動駅前商店街で駐車禁止解除
(06年2月9日にNHKが全国放送)